

いわさわ
岩沢まごころ市

(新潟県 おぢやし 小千谷市)

岩沢のごっつお

◇活動の経緯、内容

平成11年に地域の男性によって地域おこし活動グループが結成されたことを受け、女性達もグループ化し連携して地域おこしをしていこうという提案のもと、地域資源の発掘・活用を目的とした農産物直売の設置が検討された。それを契機として平成12年に地域内の有志女性17人が集まって結成したのが当グループである。

平成16年の新潟県中越地震を経験し活動が停滞、解散を考えた時期もあったが、「野菜や山菜とともに元気も届けたい」という思いから現在も活動を続けている。



週1回の直売市、週1回の学校給食への食材提供、週2～3回のデイサービス給食を中心に、依頼に応じたイベント等への郷土料理の提供などの活動を展開している。

そこで利用される食材は、各メンバーの自家生産物と、地域の耕作放棄地を活用した共同畑での生産物を中心に、ほぼ100%が地場産である。また、地域の篤農家と連携して「胃袋カボチャ」「なますうり」「小高豆」といった伝統野菜の保存にも取り組んでおり、地域農業の振興にも大きく寄与している。

◇代表作品の紹介

岩沢のごっつお：

グループでは、行事食や常備菜として地域に伝わる料理を「岩沢のごっつお（ごちそう）」として継承、普及することに努めている。

イベント等においてバイキング形式で提供され好評を得ている数々の「ごっつお」は、100品を越えるレシピ集「残しておきたい、伝えたい岩沢のごっつお」として整理・刊行されており、地域の食文化を広く普及することに活用されている。

